

# 復命書

2008年 4月14日

静政会 代表  
伊東 稔浩 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2008年4月11日～12日
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等 三重県桑名市長島カントリーリゾート（セミナー会場） 桑名市立中央図書館
	(2) 対 応 者 三重県議会・三重県議会改革推進会議主催 くわなメディアライブ総合館長 山副 泰志 桑名市中央図書館 係長 長坂 洋志
3 目 的	第4回 全国自治体議会改革推進シンポジウム～分権新時代をひらく自治体議会の在り方を考える～に参加し、地方分権時代にふさわしい自治体議会のあり方と二元代表制をふまえた改革の方向性考えるため、先進例などを聞き、わが市の参考にする。 桑名市立中央図書館では、全国的に有名な閉架式書庫や、PFI方式の複合施設の実状を伺う。
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 片山善博慶応大学教授（元鳥取県知事）の基調講演 『地方分権時代と議会のミッション』 地方分権とは、自治体のコントロールを国ではなく住民が行う仕組みで行うこと。自治体は住民とその代表である議会によって支えられてコントロールされるべきもの。ととても歯切れいい。又重要事項の決め方に触れ、議会において合意形成され、大方の住民が納得するもので無ければならない。議会が、通過機関、手続き機関であってはならない。やあー、先決処分も含め、議会が儀式化してはいないかと思っていたので、まったく!と聞いて聞いた。二元代表制の機能はきちんと働いているか? 国に対する対抗軸はどうか? 合併は真に住民のためになっていたかどうか吟味点検はしているか? 平成20年の予算案について、適切に対応したか? 色々続く。。ガソリンスタンドの経営者の方がしっかりしていた。自分達で考え行動した。国から言われたとおりやって、穴あいたらどうする。。の自治体職員。自分達で主体的に考えないといけない。分権は常に自分達の事は自分達で考えるミッションが必要だ。目的は、何な

の？低コストで良質。誰のために？議員の意識改革と同時に職員の意識改革も必要だと思った。税の負担分担とは、必要な経費を住民に割り振る作業、その、割り振り方を決める条例を、審議、議決するのが議会。納税者のために税負担はより少なく。。政治家の最大の仕事は減税とそのための行政改革！と言い切った。

最小経費で最大のサービスが行政の仕事。議員は正しく使われているのかを、無駄は無いのかをしっかりとチェックしなければならない。

『パネルディスカッション』

神奈川県議会議長 松田良昭・日経グローバル主任研究員 井上明彦

三重県民 中山 美保・ 三重県議会議長 岩名秀樹

議長選挙のマニフェスト・開かれた議会づくり、議会基本条例制定、議会局の強化を議長のビジョンに掲げた神奈川県議会議長松田氏。

多選禁止条例、商店街活性化条例、がん克服条例など次々に成立させる。政務調査費で住民監査でもんだいになり自主返還した。県民満足度日本1を目指している。事実上の議長選挙が行われている事実は評価できるし、我が議会もこのようにすべきで、水面下で進めるのではない選挙が必要だ。

三重県議会議長岩名氏。三重県議会議会改革3点。情報公開、住民参加による住民自治、議会の出前講座。代表者会議の公開。議長の定例記者会見、通年議会開会。身分保障の問題などかなり改革が進んでいる感じた。議員の身分は、非常勤特別公務員の現状、また、政務調査費という言い方、議員活動と議会活動の線引きなどかなり興味のある話だが、これらは全国的に連携して考えていかなければならない事だと受け止めた。

日経グローバルの調査報告は、参考になるものだ。議員の定員削減や、政務調査費の使途は、かなり住民が厳しい目で見ていることがわかる。領収書の添付や、費用弁償などは、我が議会は進んでいる方だと実感。全面公開移行するのは当たり前的事だ。また、政策立案機能の強化も進んでいるという事だが、これも、特に我が会派は、力をつけて、条例提案制定できるまでがんばるようにしたい。一人参加の県民代表の中山氏。オンブズマン的でもありそうでもなく。。自分自身が興味を持ったのがこの議会、どうしてそうなるのか問いただしていくうちに、かなり行政の理不尽なところを正しているようだ。

市民力向上を願っている私は、このような人がたくさん居ればいいのと思った。

『桑名市立中央図書館』

桑名中央図書館は、くわなメディアライブという複合施設の中にあります。駅からも近く、ショッピングセンターにも近い好条件。昔ここは、桑名の鋳物工場があった場所だそうです。日本初の、PFI方式の運営がなされています。1回の喫茶室もそ

	<p>の施設の一つです。図書館らしくないのいい感じ。</p> <p>自動貸出機、自動化書庫、I Cチップでの管理などなど、21世紀の新しい図書館を目指しているだけあるという施設です。指定管理者制度のできる前に採用された運営管理方式。30年の管理は、図書館だけでないので成り立っているという返事。利益を生まない施設の外部管理の難しさを感じられた。それでも、書架が低く明るく、特別保管の歴史書コーナーの管理体制はすばらしかった。</p> <p>対面読み聞かせなどもあるというので、本来図書館は人と人の会話が必要なのに、自動貸し出しじゃーと思いましたが良かったです。この運営は、規模が大事だと思いました。1施設ならまだしも、静岡のように9館全部平等には無理だと思った。</p>
<p>5 成果・市政への反映等</p>	<p>我が議会も、『あり会』で議会改革を検討してきた経緯があったので、比較も出来ると思ひ参加した。議員自らの事を議論するのはなかなか難しいと思ひながら、議長の招集権や議員の身分の事などはかなり興味のあることで、全国的に地方議会が連帯して改革を進めていかなければならない事だと思ひました。</p> <p>PFI方式での運営、複合施設の中の図書館の実態がみえた。街の規模も考えなければならぬ条件だ。視察の主目的ではなかったが、途中立ち寄った観光施設“なばなの里”は、日本1の花の里のうたい文句であったが、まー納得いくものであった。何よりも参考にすべきは、桑名駅前からのパ`スのアクセスの良さだった。観光静岡推進に参考にすべき事だと思ひました。夜遅くまでの営業も参考にできる事柄だ。</p>